

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4305 動物論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜4限				
教室	H405教室				
代表教員	上野 俊哉				
担当教員	上野 俊哉				
テーマと到達目標	人間も動物の一種であるが、動物と人間は同じではない。人間を動物（人間ではないもの）との関係からとらえなおして考える。人間を研究するには「人間でないもの」について研究し、考えなければならない。その理由を具体的かつ理論的に考える。				
概要	昨今、人里や郊外にあらわれるクマ、あるいは一緒に暮らすペット、日々わたしたちが口にする動物、様々な共生や対立にある動物についての様々な本を紹介しつつ、哲学、人類学、生態学、文学、美学、動物行動学、社会学・・・などとの関係で考える。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	人間は本能の壊れた動物である				対面授業
第2回	動物と人間を分けることから人間性は作りだされた				対面授業
第3回	いのちを喰らう、動物の命を奪うということ				対面授業
第4回	動物のなわばり、人間のなわばり、アーバンベアやAIベア				対面授業
第5回	「われ思うゆえにわれ在り」、「動物を追う、ゆえにわたしは<動物>である」				対面授業
第6回	屠殺と肉食、菜食の歴史				対面授業
第7回	動物の解放と障害者の解放				対面授業
第8回	文学と動物、植物1 安部公房、ジャン・ジュネ				対面授業
第9回	文学と動物、植物2 中上健次				対面授業
第10回	戦争と動物、震災と動物				対面授業
第11回	タコに知性はあるのか？ イカはクトゥルフ神話のキャラか？				対面授業
第12回	動物と人種主義=レイシズム				対面授業
第13回	お供の動物、伴侶種とサイボーグ、「生体商品」としてのペット				対面授業
第14回	動物とシャーマニズム、アニミズム				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	学校ではなく、大学なので出席は一切とらない。出席点が欲しければ、発言すればいい。講義中にふれた著作、論文などを読み、それらの概念や方法を使って、自分で問いを立てて書くこと。2800字以上。自分がなぜそのように考えるかを、理由や論拠を他から（人や本、出来事など）例にとって引くことで考えていることを言葉にしてみる。感想のみは不可となる。レポートは「である、だ」調で書くこと。「ですます」調は不可。				
履修にあたっての留意事項	大学での学びにコスバやタイバを求める人には向いていません。学生をお客さまや消費者と思ったことはありません。これからありません。単に学び逃れる大人の一人としてあつきます。今は活字や本が嫌いでも、これから本を読むことがすきになりたい人に向いています。授業公開の制度には一歳エントリーしない。理由は大学の講義にニセ学生がいるのは当たり前のことだから。和光の教職員は授業公開の制度、仕組みに関わりなく、いつでもわたしの講義を聞いてもらってかまわない。ただし、参加する場合、一声かけていただく。関係性（ラポール）はあらかじめ、そちらからアプローチして築いていただく。				

オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	膨大にあるので、そのつど紹介する。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
--------------------	---